

# 紀州まちづくり舎

## 事業概要

### 1. 紀州まちづくり舎

・平成26年10月に発足した民間自立型のまちづくり会社。リノベーションまちづくりにより平成27年2月に開業した農園レストラン「石窯ポポロ」をはじめ、平成28年4月に洋菓子店「almo」、同年6月にゲストハウス「macomo」を展開。

・店舗展開だけでなく、地域の相談役として遊休不動産の活用の促進、行政と地域住民が連携した地域イベントを実施することで、商店街ににぎわいを起こし、地域の活性化を目指す。

### 2. 石窯ポポロ

・「農とまちをつなぐ」をコンセプトにした農園レストラン。「和歌山リノベーションスクール」の記念すべき第一号の事業化案件。

・ぶらくり丁商店街の空店舗をセルフリノベーションし、平成27年2月にオープン。

・にこにこのうえんの無農薬野菜をはじめとした地元の新鮮食材など、素材にこだわった石窯料理などを提供。

### 3. ポポロハスマーケット

・まちなかの活性化や賑わいの創出、そして持続可能な暮らしを目的とした“てづくり”と“ロハス”にこだわったマーケットイベント。

・毎月第2日曜日に定期開催。100店舗ほどの出店者があり、毎回8,000人程度の来場者が訪れる。

・市堀川周辺の水辺エリアでのカヌー回遊など、多様なイベントを実施。

### 4. にこにこのうえん

・石窯ポポロへ無農薬野菜を提供。

・一般向けに農業体験をはじめ、石窯づくりなどのワークショップも実施。ここで行ったイベントのノウハウをポポロハスマーケットでも活用。

## ビジネスモデル



◎ポポロハスマーケットについては<http://www.popolohas.com/> ◎石窯ポポロについては、<http://www.nikonikonouen.com/>

## 事業の特徴・ポイント

- ・空き店舗等をリノベーションし、新たなコンセプトの店舗を展開することで、「ぶらくり丁商店街」を中心とするエリアの付加価値を高めるまちづくり。
- ・定期的なイベントを開催することで、エリア一体で地域の賑わいを取り戻し、商店街の活性化を促進。自社店舗の売上増加に結びつける、好循環を生み出す仕組みを形成。

## 産業経済研究員からの一言

- ・民間事業者が不動産オーナーとテナント（借借人）をつなぎ、①まちのにぎわい、②起業、③不動産収入アップを実現した「三方よし」のモデルを構築している。
- ・地元企業が自らリスクを負って本気で取り組むことが、地域の価値を高める仕組みづくりの必須条件となる。
- ・行政（市）が安易に補助金を出すのではなく、まちづくりへの熱い思いを持つ人々が集う「場」を提供したところに、行政施策の新しい役割を垣間見ることができる。